（別紙様式例3）

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和6年　3月　28日

事業所名：児童発達支援ルーム　あすたむ

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標
			はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○				93%	7%	0%	0%	・子供の人数に対して、十分に確保されている。	活動内容や人数・年齢によっては少し手狭に感じる時がありますが、安全に楽しく活動できるよう工夫しております。
	2	職員の適切な配置	○			人数に対して子どもの動きによって職員が足りないと感じることがある	93%	3%	0%	3%	・1対1以上の配置があり、親としては安心して見ていられる。 ・職員間での連絡力に差が大きいと感じることがある。 ・適切だと思う。	経験年数や職種などにより知識や対応に差があることに対して、当事業所として各職員が培ってきたことを活かすこと、それぞれの視点でみたこと・感じたことなどを大切にしながら、必要な支援を職員で話し合い、考えていくことを通して、各職員の視点×知識の広がりや対応力の向上を図っていきます。また療育中の利用児の安全を守っていくために職員間の連携や活動の内容・運営方法を話し合い、考えていきたいと思います。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○				97%	3%	0%	0%	・段差のないトイレやスロープなどしっかりとバリアフリー化がなされている。 ・職員同士ですぐ何をするかわかっているように感じる。 ・サーキットで子供が飽きてきていたり興味なさそうにしていても変更せずにいる時が度々ある。	丁寧なご意見ありがとうございます。今後、療育中の利用児さんの様子や反応を職員間で迅速に共有し臨機応変に対応できるよう努めていきます。可能な限り個別性を重視した活動内容としていますが、小集団での療育であるため、完全に個に合わせた環境設定や活動内容の変更が難しい場合があります。その点ご了承お願い致します。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○				97%	3%	0%	0%	・子供に合わせてくれているので毎回とても楽しそうに活動している。	日々清掃や危険箇所等の確認を行なっておりますが、見落としもあるかと思いますので、お気づきの点がございましたらお近くの職員にお声掛けください。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	○			職員から課題は上がるが、迅速に対応できていない場面がある						職員だけでなく、保護者様からのご意見や課題に対して迅速に対応するよう事業所全体で取り組んでいきたいと思います。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		○		相談支援専門員や保護者様の評価や意見・要望を受けて業務に活かしている。 第三者評価員は決定していない。						
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○									
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○			アセスメントの正確性を高めるため、多方面から情報収集するようにしている。	72%	14%	0%	14%	・児童発達支援計画の内容を十分に把握できていない。	説明時に分かりやすく説明するよう努めます。説明時以外でも不明な点がございましたらお気軽にお声掛けください。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○				79%	10%	0%	10%	・具体的な支援内容・計画の共有が不十分な気はします。 ・児童発達支援計画の内容を十分に把握できていない。	
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○									
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○				38%	10%	0%	17%	・計画を元にプログラムを立案してくれている	・今後も利用児ごとに満足していただける内容を考えて参ります
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	○									これからも利用児に必要な支援を楽しく行える形で提供して参ります
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○			個々の感覚特性や得意不得意を把握して活動を選択している。	48%	14%	0%	3%	・いろんな工夫をしてくれています。	
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援		○								
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○									
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○			毎日の振り返りと月単位での変化を捉えられるシステムを作っている						
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○									
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○									
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○									
	2	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）** 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	○									
	3	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）** 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	○									

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標
			はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
関係機関との連携（続き）	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	○									
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○									
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進		○								
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供			○		41%	3%	10%	45%	・今までに交流の機会がないかったので不明です。 ・1時間の中での交流は難しいと思う。	当事業所の療育方法として交流の機会の提供は困難ですが、保育所等訪問支援事業を通じて、園や学校などでの支援を行うことも可能ですのでご相談ください。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		○								
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○				97%	0%	3%	0%	・分かりやすく説明してくれました。	分かりにくいことや疑問点があればお気軽にお声掛けください
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○				34%	14%	10%	7%	・相談にはのってもらえるが、頻度が少ない気がしている。 ・入所の時のように時々話を聞きたい。 ・変更がある時には話をしてもらいたい。	相談したいことがありましたらお近くの職員へお気軽にお声掛けください 計画更新時にお話をする時間をいただきますのでご協力ください
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		○		実際の療育場面を見ていただき、細かく具体的に伝えるように努めている	66%	10%	14%	10%		ご家庭で気になることや困っていることがありましたらお気軽にご相談ください 一緒に対応方法などを検討させていただきます
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	○			対面でのお話や公式LINE等のツールを利用して情報共有を行なっている	93%	3%	3%	0%		お子様の日頃のご家庭や園・学校でのご様子を聞かせてください
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	○				79%	7%	7%	0%	・些細な行動に対しても、とても丁寧にアドバイスをもらえるので、安心して子育てができている。	ご相談内容により、その場でお答えができないこともあるかと思います。そのような場合でも職員で話し合い適切な対応方法などを検討してのち返答させていただきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		○			10%	17%	24%	45%		
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	○				45%	10%	3%	45%	・苦情はない。 ・その現場を見たことがないので"わからない"にしています。	療育室の壁に苦情窓口に関する掲示をしておりますので、保護者様に周知して参ります。 より良い療育の提供のため、些細なことでもかまいませんので、気になることがありましたらご相談ください。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	○				86%	7%	3%	3%	・話しかけやすい雰囲気があると思う。	話しかけやすい関係作りと合わせて、こちらから保護者様へお声掛けする機会も増やしていきたいと思います。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	○				79%	7%	7%	0%	・職員の方の顔写真がある広報を貰えるのはとても助かっている。	職員の顔写真の掲示は継続していきたいと思います。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	○				10%	17%	24%	45%		
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	○				45%	10%	3%	45%		マニュアル等は策定し、玄関に閲覧できるように設置しておりますが、保護者様への周知が不十分でした。今後は、より見やすい配置と説明をさせていただきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	○				86%	7%	3%	3%	・活動での避難訓練等に参加したことがないので、訓練が実施されているか不明。	急な環境や活動の変化に影響を受けてしまう利用児へ配慮し療育を行なっていない時間帯に実施しておりました。今後、利用児参加型での避難訓練等を検討して参ります。
非常時等の対応（続き）	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○									
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載		○								
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応		○								
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○									